
宮崎県埋蔵文化財センター一年報

第 2 6 号

令 和 3

(2 0 2 1)

年 度

2 0 2 2

序

本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの概要と令和3年度に実施した諸事業についてまとめたものです。

当センターは、昭和57年（1982年）10月、宮崎市神宮の地に宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして発足して以来、国・県・西日本高速道路株式会社等の実施する各種開発事業に伴う発掘調査を行うとともに、出土遺物の整理、保管を行ってきました。また、明らかになった郷土に関することがらをテーマ展示や出前展示、報告会等によって県民の皆様の郷土理解に役立てるなど、埋蔵文化財の保護と活用、教育普及活動に取り組んでいるところです。

令和3年度は、美郷町北郷区において砂防工事に伴う1遺跡、新富町湯之宮と宮崎市熊野において県道改良工事に伴う2遺跡の発掘調査を実施するとともに、これまでに発掘調査が終了した7遺跡の資料について整理作業を実施し、このうち4遺跡について報告書を刊行しました。

また、令和2年度からは、県内の西南戦争関連遺跡の文献調査や悉皆・測量調査などを行う「近代宮崎を知る・つなぐ～西南戦争関連遺跡総合調査～」を実施しています。また、発掘調査を実施した3遺跡では現地説明会等も開催しました。

普及活動に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で延期や中止となったイベントもありましたが、対策をとりつつできる限りの取り組みを行いました。当センター分館では、埋文講座、施設公開「埋文センターで考古学体験」などを開催しました。学校や児童クラブ、地域の催事などにおいては、地域から出土した土器や石器を持参して講座や授業をおこなう「出前講座・出前授業」を実施し、感染症対策で対面授業が困難な場合には、オンラインによる講座を行いました。これらの取り組みにより、郷土の文化遺産である埋蔵文化財を多くの方々を知っていただくための機会の提供に努めたところです。

今後も、県民の皆様に郷土の歴史をより身近なものと感じていただけるよう、職員が一丸となり業務に取り組んで参りますので、関係各位の御理解と御協力をお願いいたします。

令和4年5月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 菊村 祐司

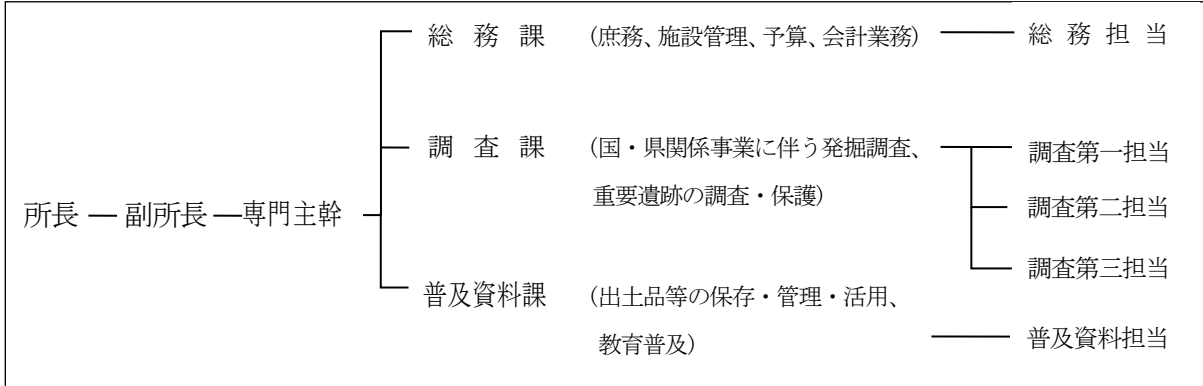
目 次

I	組織・施設	1
1	組織	1
2	施設	2
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	令和3年度の活動状況	5
1	埋蔵文化財記録保存のための発掘調査	5
(1)	発掘調査	5
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	5
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	6
(4)	近代宮崎を知る・つなぐ～西南戦争関連遺跡総合調査～（文化庁補助事業）	6
(5)	保存処理	7
(6)	収蔵整理	8
2	教育普及活動	8
(1)	埋文講座	8
(2)	埋文センター施設公開・体験講座	8
(3)	遺跡発掘成果展 2021・遺跡発掘速報会	9
(4)	分館テーマ展示	9
(5)	出前展示	9
(6)	出前講座	10
(7)	現地説明会・調査報告会等	11
(8)	見学・研修等で訪れた団体およびインターンシップ・職場体験の受け入れ	11
(9)	資料等の提供	12
(10)	職員派遣	14
(11)	埋蔵文化財担当専門職員研修会	15
(12)	広報出版物	15
(13)	ホームページ・SNS	15
3	会議・職員研修	15
(1)	各種会議等への参加	15
(2)	共同研究への参加	16
(3)	労働安全衛生関係の講習会等への参加	16
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	17

I 組織・施設

1 組織

(令和4年4月1日現在)



所長	菊村 祐司	○調査第二担当 (担当リーダー)	
副所長	片伯部 真一	副主幹	平井 祥蔵
専門主幹	向井 大蔵	(高速道対策局・併)	
専門主幹	柚木崎 誠一朗	主査	伊東 浩二
専門主幹	谷口 武範	(高速道対策局・併)	
		主査	石塚 啓祐
総務課		(高速道対策局・併)	
(兼) 課長	片伯部 真一	主査	守部 丘大
○総務担当 (担当リーダー)		主査	川嶋 信平
主幹	阿波野 ゆかり	主任主事	加藤 真理子
主事	米良 ふたば	主任主事	留野 優兵
主事 (会計年度任用職員)	河野 由芽	(会計年度任用職員)	
業務支援員	永野 光希子	埋蔵文化財発掘調査専門員	本部 裕美
		○調査第三担当 (担当リーダー)	
調査課		副主幹	堀田 孝博
課長	東 憲章	主査	谷口 至
		主査	上野 哲矢
○調査第一担当 (担当リーダー)			
主幹	和田 理啓	普及資料課	
主査	山田 洋一郎	課長	松田 清孝
主査	藤木 聡		
主査	江藤 建輔	○普及資料担当 (担当リーダー)	
主査	小吹 雅史	主幹	田中 敏雄
主査	吉行 真人	主査	谷口 晴子
主査	小山 輝晃	主査	佐土瀬 英嗣
		(会計年度任用職員)	
		埋蔵文化財整理専門員	貴嶋 活実

2 施設

(1) 本館 (宮崎市佐土原町下那珂4019)

本館 2,656,50 m²

①管理棟・調査研究棟 (鉄筋コンクリート造一部木造平屋建) 1,745.99 m²

事務室	57.76 m ²
所長室	19.86 m ²
情報処理室	33.17 m ²
会議室	78.52 m ²
休憩室	78.52 m ²
調査研究室	248.55 m ²
復元整理室	293.44 m ²
一次処理室	96.81 m ²
図面整理室	61.62 m ²
写場	64.20 m ²
暗室	12.65 m ²
一次保管室 (2層)	188.00 m ²
図書室 (2層)	193.88 m ²
荷捌室	43.01 m ²
その他	276.00 m ²

②整理作業棟 (収蔵庫) (鉄骨造) 216.76 m²

③収蔵庫棟 (鉄骨造) 693.75 m²

(2) 分館 (宮崎市神宮2丁目4-4)

分館 (鉄筋コンクリート造2階建) 1,652.38 m²

1階 877.58 m²

一次処理室	121.20 m ²
復元整理室	148.30 m ²
保存処理室	49.30 m ²
(鉄器	22.70 m ²)
(木器	26.60 m ²)
研修室	143.20 m ²
事務室	41.80 m ²
展示室	150.00 m ²
器材庫	11.00 m ²
エントランスホール他	212.78 m ²

2階 774.80 m²

写場・暗室	49.30 m ²
写真保管室	35.10 m ²
図面保管室	53.10 m ²
収蔵整理室	19.30 m ²
収蔵室	564.00 m ²
特別収蔵室	54.00 m ²

II 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事 項
1980	昭55	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案
1981	56	基本設計を実施
1982	57. 1. 9 7. 29 10. 2	起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」 （講師：国立民族学博物館教授 佐々木高明）
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	（茂山護転出、菅付和樹転入）
1985	60. 11. 2	文化財保護強調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群一遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行 センター長長友巖発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平1. 4. 1	センター長石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳一遺物編」刊行。 兼務職員13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡一資料編1」刊行。 センター長木幡文夫発令。設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82～'91」を開催する。 脱塩装置、赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9. 15	センター長後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫設置
1995	7. 1. 29 2. 16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成 屋根防水工事完了 センター長関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係（第二係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第一係（東九州自動車道担当）を置く。
1997	9. 3. 17 4. 1	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。 職員37名、嘱託7名となる。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名となる。
1999	11. 4. 1	職員42名、嘱託8名となる。
2000	12. 1. 20 4. 1	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤職員12名となる。分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成

西暦	年月日	事 項
2001	13. 4. 1 7. 1	職員59名、非常勤16名となる。 調査第一課調査研究室設置
2002	14. 4. 1	所長米良弘康発令。職員 63 名、非常勤職員 17 名となる。
2003	15. 4. 1	職員 64 名、非常勤 15 名となる。
2004	16. 4. 1	所長宮園淳一発令。職員62名（うち任期付き職員13名）、非常勤職員12名となる。 収蔵庫用に旧醸検定工場を農政企画課から所管換え。
2005	17. 3. 8 4. 1 8. 18 11. 16	収蔵第一期工事完成。 職員61名（うち任期付き職員19名）、非常勤職員9名となる。 収蔵第二期工事完成。 調査第一課整理棟の設置。（東畦原整理作業棟撤去に伴い貸借開始）
2006	18. 4. 1	所長清野勉発令。職員 64 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 8 名となる。
2007	19. 4. 1	職員 64 名（うち任期付き職員 19 名）、非常勤職員 3 名となる。
2008	20. 4. 1	所長福永展幸発令。職員 61 名（うち任期付き職員 16 名）、非常勤職員 2 名となる。調査第一課整理棟撤去。
2009	21. 4. 1	職員 59 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2010	22. 4. 1	所長森隆茂発令。職員 62 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2011	23. 4. 1	職員 53 名（うち任期付き職員 15 名）、非常勤職員 1 名となる。
2012	24. 4. 1	所長北郷泰道発令。職員 42 名（うち任期付き職員 7 名）、非常勤職員 1 名となる。10 月より東日本大震災復興支援で宮城県へ松本茂を派遣。
2013	25. 4. 1 10. 12 ～ 12. 8	所長向井大蔵発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。引き続き東日本大震災復興支援で、宮城県へ和田理啓を派遣。 特別展『みやざき発掘 100 年—いこしへの「道」と交流』開催
2014	26. 4. 1	所長岩切隆志発令。職員 28 名、非常勤職員 1 名となる。調査第一課と調査第二課を統合し、調査課を置く。東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣(2年目)。
2015	27. 4. 1	東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣(3年目)。本年度で派遣終了。 移動展示会「ふるさと発掘！埋文キャラバン」事業でアウトリーチ活動を展開。 旧調査第一課調査研究室撤去。
2016	28. 4. 1	所長谷口武範発令。10 月より非常勤職員 2 名となる。
2017	29. 4. 1	所長菅付和樹発令。職員 29 名、非常勤職員 3 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で加藤徹を熊本市に派遣。
2018	30. 4. 1	所長長峯勝志発令。職員 30 名、非常勤職員 3 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で沖野誠を熊本市に派遣。
2019	31. 4. 1	所長山元高光発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で沖野誠を熊本市に派遣(2年目)。
2020	令 2. 4. 1	職員 31 名、会計年度任用職員 2 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で沖野誠を益城町に派遣。
2021	令 3. 4. 1	所長菊村祐司発令。職員 31 名、会計年度任用職員 2 名となる。
2022	令 4. 4. 1	職員 30 名、会計年度任用職員 3 名となる

Ⅲ 令和3年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

令和3年度は以下に記載する事業を実施した。

1 埋蔵文化財記録保存のための発掘調査

(1) 発掘調査

国・県事業に伴う試掘・確認調査及び発掘調査を実施している。本年度は陣ノ元遺跡（宮崎市）、羽子場遺跡（美郷町）、湯之宮遺跡（新富町）の3か所で本調査を実施した。

【 発掘調査一覧 】

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	陣ノ元遺跡	宮崎市 大字 熊野	縄文時代 弥生時代 古墳時代 古代 中世 近世・近代	集石遺構、 土坑、竪穴 建物跡、掘 立柱建物 跡、溝状遺 構、貯蔵穴	縄文土器、 弥生土器、 土師器、 陶磁器、 石器、鉄器	R3. 4. 3 ～ R4. 3. 4 (実調査日 数193日)	6,400㎡	江藤建輔 石塚啓祐 藤木 聡	一般県道 学園木花 台本郷北 方線（山 下工区） 道路改良 工事
2	羽子場遺跡	東臼杵郡 美郷町 北郷区 宇納間	旧石器時代 縄文時代 中世・近世	集石遺構	縄文土器、 石器、 陶磁器	R3. 4. 23 ～ R3. 6. 30 (実調査日 数34日)	100㎡	伊東浩二 平井祥蔵 小吹雅史	中田谷川 1 通常砂 防工事
3	湯之宮遺跡	児湯郡 新富町 大字 新田	弥生時代 古代・中世	竪穴建物 跡	弥生土器、 土師器、 須恵器、 陶磁器、 石器、銭貨	R3. 7. 27 ～ R3. 10. 13 (実調査日 数45日)	380㎡	伊東浩二 平井祥蔵	県道川床 日向新富 停車場線 (湯之宮 工区) 道 路改良工 事

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な比較検討を要する遺跡の調査を実施するにあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の研究者を招聘している。また、職員を派遣し、位置づけの明確でない遺構や遺物について調査を行うものである。

【 調査指導 】

日 程	場所（遺跡）	所属・氏名	指導内容
R3. 10. 5	本館（上平遺跡）	都城市文化財課 課長 栗畑光博氏	縄文時代早期の土器分類について
R3. 12. 6, 7	横谷台場群 ほか	熊本県立装飾古墳館分館 歴史公園鞠智城・温故創生館 主幹兼文化財整備交流課長 岡本真也氏	遺構や遺物の見方、とらえ方等について

【 資料調査 】

日 程	出張先	出張者	目 的
令和3年度は実施せず	—	—	—

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。本年度整理を実施した遺跡は7遺跡で、内訳は歩道整備事業1遺跡、県道改良事業2遺跡、県有体育施設整備事業2遺跡、砂防事業1遺跡、美郷町からの依頼業務1遺跡である。なお、本年度は整理作業の終了した4遺跡の発掘調査報告書を刊行した。

【 出土遺物等整理対象遺跡一覧 】

遺跡名	事業名	事業者
瀬口遺跡	県道都城野尻線（椎屋工区）道路改良工事	県土整備部都城土木事務所
山城城跡・串木遺跡第4地点	県道杉安高鍋線（山城工区）道路改良工事	県土整備部西都土木事務所
串木遺跡第3地点	県道杉安高鍋線（山城工区）歩道整備工事	
花木池平遺跡	県有体育施設整備事業（調整池）建設工事	総合政策部国民スポーツ大会準備課（現：国スポ・障スポ準備課）
上平遺跡	県有体育施設整備事業（陸上競技場）建設工事	
羽子場遺跡	中田谷川1 通常砂防工事	県土整備部日向土木事務所
小路遺跡	西の正倉院前庭整備工事（美郷町からの依頼業務）	美郷町

【 発掘調査報告書刊行一覧 】

No.	報告書名	副書名	執筆・編集者
259	瀬口遺跡	県道都城野尻線（椎屋工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	大竹進太郎
260	串木遺跡第3地点	県道杉安高鍋線（山城工区）歩道整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	大竹進太郎
261	花木池平遺跡	県有体育施設整備事業（調整池）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	古川 誠
262	山城城跡・串木遺跡第4地点	県道杉安高鍋線（山城工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	橋本 英俊

(4) 近代宮崎を知る・つなぐ～西南戦争関連遺跡総合調査～（文化庁補助事業）

令和2年度から3か年事業で本県の西南戦争（明治10年、1877年）関連遺跡の所在地や現況の把握と、今後の保存・活用を進めていくうえで必要な情報の収集を目的として、台場等の基礎的調査（文献調査や悉皆調査等）や重要な遺跡を対象とした測量調査を実施している。

また調査成果については、県民の理解を深めるため、遺跡の所在する市町村での展示会を計画する等、教育普及活動も行っている。令和3年度は小林市教育委員会との共催で成果展を開催する準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮して中止とした。

① 西南戦争関連遺跡の悉皆調査

令和3年度は、台場174基と墓・慰霊碑等151基の悉皆調査を行った。

【 悉皆調査一覧（台場） 】

市町村名	台場名	基数	調査担当者
五ヶ瀬町	大石越台場、広木野台場、鏡山台場群、坊主山台場群、笠部峠台場、宮ノ原台場、室野岳台場群、樺木岳台場	14	堀田孝博 黒木俊彦 谷口至
高千穂町	戸ノ口台場群、小坂峠台場群、富野尾台場群	10	
延岡市	和田越台場群	43	
西米良村	天包山台場群、横谷台場群	10	
宮崎市	陣之尾台場群、高岡紙屋台場群、浦田台場群	54	
小林市	七熊山台場群、勝負台場群、奈佐木峠台場群、高山山頂台場、市ノ瀬台場群	25	
えびの市	矢岳台場群	18	

【 悉皆調査一覧（墓・慰霊碑等） 】

市町村名	台場名	基数	調査担当者
五ヶ瀬町	八人塚、西南戦争慰霊碑、西郷軍三百余土碑、薩軍兵士の墓、西郷隆盛本営址、西郷隆盛退軍之路、鏡山西南役慰霊遙拝	10	堀田孝博 黒木俊彦 谷口至
高千穂町	官軍墓地、薩州さんの墓	43	
延岡市	岡富官軍墓地、延岡隊戦没者招魂碑、和田越決戦之地、小倉處平自刃之地、中津大四郎自刃の地、明治十年激戦地碑、西南戦争時野戦病院跡、薩軍兵士の墓、西南の役延岡隊最後の奮戦地跡	9	
日向市	薩軍無名戦士の墓、故一等警部補細谷卓良之墓、薩軍兵士の墓	48	
西米良村	西南戦争之碑	1	
えびの市	招魂社・吉田郷従軍者名碑、加久藤郷招魂墓、官軍墓供養塔、官軍墓地の墓石群、戦傷病者之碑	40	

② 西南戦争関連遺跡の測量調査

令和3年度は、以下の台場等の測量調査を実施した。

【 測量調査一覧 】

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査面積	調査担当者
1	七熊山台場群 遺物分布図	小林市須木内山	近代	—	R3. 5. 14~6. 8 (実調査日数4日)	—	堀田孝博 黒木俊彦 谷口至
2	笹尾台場群 7~19・32号	日向市美々津町関渡 ほか	近代	—	R3. 8. 1~R4. 1. 31 (測量委託を含む)	—	
3	笹尾台場群 5号	日向市美々津町赤落	近代	—	R3. 11. 24 (実調査日数1日)	—	

(5) 保存処理

普及資料課及び調査課では、出土した金属製品や木製品について保存処理を行っている。本年度は13遺跡の鉄器101点の処理を行った。

鉄器保存処理実施の遺跡

遺跡名	主な器種	保存処理
柿ノ木田越台場群、美三ヶ辻台場群、余瀬台場群、笹尾台場群、内谷峯台場群、高塚山台場群、阿下台場、舟の尾台場群、日之影新町台場群、大楠台場群、山師峠台場群、七熊山台場群、陣ノ元遺跡	鉄鏃、葉莢、銃弾等	土落とし、仮接合まで実施

(6) 収蔵整理

① 収蔵庫（分館）

分館収蔵庫には、登録を完了した遺物や登録作業途中・待機中の遺物を収蔵している。令和3年度は、登録作業により25箱の圧縮となった。

② 収蔵庫（本館）

新収蔵庫には、主に本館で整理作業の終了した遺物や登録待機遺物を収蔵している。令和3年度は、コンテナ78箱を搬入し、美郷町への贈与分16箱との集計でコンテナ15,677箱の収蔵量となった。

③ 登録作業

分館における令和3年度の実績は3遺跡、コンテナ118箱である。登録累計292遺跡、コンテナ7,318箱となった。本館における同年度の実績は4遺跡、コンテナ78箱であり、登録累計112遺跡、コンテナ3,859箱となった。よって、令和3年度の本館と分館を合わせた登録収蔵総累計は、404遺跡、コンテナ11,177箱である。

④ 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。令和3年度は1,604冊の受け入れがあり、合計収蔵数は84,883冊になる。図書管理システムによる図書資料の登録と、バーコードによる貸出・返却管理を行っている。

2 教育普及活動

令和3年度の教育普及事業は、埋文講座、遺跡発掘成果展2021「再発見！1990年代調査の遺跡」、施設公開（年5回）、分館展示のほか、出前講座等のアウトリーチ活動を実施した。令和3年度の分館入館者は4,137名であった。

(1) 埋文講座

近年発掘調査報告書を刊行した遺跡の最終成果報告講座、また本県の歴史を考える上で重要な遺跡、当センターの事業報告の場として、年5回（5・7・10・11・2月の第3日曜日）、午後1時30分から午後3時まで分館研修室で講演会を計画し、関連する遺物を展示して解説を行った。また、参加者を増やす取り組みとして早期の広報活動や初心者にもわかりやすい資料の作成等に取り組み、合計で63名の参加者があった。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため2講座が中止となったが、動画等の配信を行った。

開催日	講演名	講師	参加者
第1回 R3.5.16	「瀬戸内の香る器」 竹下第2遺跡（延岡市）	宮崎県埋蔵文化財センター 和田理啓	中止
第2回 R3.7.18	「「迫」と「丘」が育んだ都城盆地の縄文文化」 小迫遺跡（都城市）	西都原考古博物館 今塩屋毅行氏	31名
第3回 R3.10.17	「熊本県での復興支援活動」	宮崎県文化財課 沖野誠氏	8名
第4回 R3.11.21	「歩いてわかった宮崎の古墳」 みやざきの古墳保護・活用事業	宮崎県埋蔵文化財センター 黒木俊彦	24名
第5回 R4.2.20	「都城盆地に花開く縄文ムラ」 保木島遺跡（都城市）	西都原考古博物館 今塩屋毅行氏	中止

(2) 埋文センター施設公開・体験講座

例年、埋蔵文化財センターの事業のPRと埋蔵文化財保護啓発の目的で「施設公開」を開催している。

本年度は、文化財保護強調週間中の11月3日（祝・水）に、「埋文センターで考古学体験」と題して分館において開催した。

【施設公開「埋文センターで考古学体験」】

開催日	開催場所	内容	参加者
R3.11.3	埋蔵文化財センター分館	土器復元体験、土器拓本体験、発掘疑似体験、石器レプリカ製作体験、ドングリつぶし体験、巨大須恵器と写真撮影、土器パズル等	1,002名



施設公開（土器拓本体験）



施設公開（石器レプリカ作り）



施設公開（ドングリつぶし体験）

（3）遺跡発掘成果展 2021・遺跡発掘速報会

埋蔵文化財センターが1990年代に発掘調査した遺跡の資料を展示する遺跡発掘成果展 2021「再発見！1990年代調査の遺跡」を県立図書館2階特別展示室で開催した。成果展関連講座および遺跡発掘速報会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

【遺跡発掘成果展 2021・関連講座】

開催期間	開催場所	展示遺跡・講座名	参加者
R3.8.20 ～ R3.9.5	県立図書館2階特別展示室	神殿遺跡、南平第3遺跡、鶴野内中水流遺跡、上牧第2遺跡、牧の原第2遺跡、荒迫遺跡、西下本庄遺跡、右葛ヶ迫遺跡、友尻遺跡、石用遺跡、前田遺跡、鳥ノ子遺跡、上の原第1遺跡、上の原第2遺跡、上の原第3遺跡、内屋敷遺跡、霧島遺跡、余り田遺跡（18遺跡）	625名
R3.9.5	県立図書館2階視聴覚室	再発見！1990年代調査の遺跡	中止

【遺跡発掘速報会】

開催日	開催場所	報告遺跡	参加者
R3.8.29	県立図書館2階視聴覚室	花木池平遺跡、山城城跡・串木遺跡、西南戦争関連遺跡、上平遺跡	中止

（4）分館テーマ展示

分館の展示室において、埋蔵文化財センターがこれまでに発掘調査を行った遺跡について、遺跡ごとに出土遺物を紹介するテーマ展示を年4回行った。埋文講座や遺跡発掘成果展等の事業との連携を図って構成した。

（5）出前展示

発掘調査で県内各地から出土した遺物等を各地域で展示し、発掘の成果を公開している。合わせて埋蔵文化財センターの業務内容についての紹介も行っている。令和3年度は1件の依頼があったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、キャンセルとなった。

(6) 出前講座

生涯学習団体や学校等からの依頼に応じて、埋蔵文化財センター職員が県内各地に出向いて行う出張講座を実施している。それぞれの地域の遺跡や遺物の展示・解説、遺物に触れる体験、埋蔵文化財センターの業務紹介等を行った。令和3年度は、コロナ禍にも関わらず多くの依頼があり、24件の講座を実施した。また、オンラインによる対応も行った。

	開催日	学校名・機関名	対象	内容	参加者
1	R3. 5. 17	西米良村立村所小学校6年	小学生	社会科授業（遺物の説明等）、質問への対応 ※オンライン	18名
2	R3. 5. 21	西米良村立村所小学校5年	小学生	遺物（学習キット）の説明、質問への対応 ※オンライン	18名
3	R3. 6. 8	小林市立東方小学校6年	小学生	総合学習授業、質問への対応 ※オンライン	13名
4	R3. 6. 9	川南町立東小学校6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	19名
5	R3. 6. 11	門川町立草川小学校6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	56名
6	R3. 6. 15	美郷北義務教育学校8・9年	中学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	18名
7	R3. 6. 23	川南町放課後子ども教室（通山小）	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学、体験講座	13名
8	R3. 6. 30	川南町放課後子ども教室（山本小）	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学、体験講座	26名
9	R3. 7. 7	川南町放課後子ども教室（川南小）	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学、体験講座	15名
10	R3. 7. 8	諸塚村立諸塚小学校5・6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	11名
11	R3. 7. 14	小林市立東方小学校6年	小学生	総合学習授業（児童発表の講評）、質問への対応 ※オンライン	10名
12	R3. 7. 15	川南町立通山小学校6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	26名
13	R3. 7. 16	木城町立木城小学校6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学、体験講座	58名
14	R3. 7. 19	西郷義務教育学校6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	24名
15	R3. 7. 26	ゆうやけクラブ（祝吉小）	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学、体験講座	45名
16	R3. 10. 18	新富町立上新田学園3・6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	40名
17	R3. 10. 20	川南町放課後子ども教室（川南東小）	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学、体験講座	13名
18	R3. 10. 26	生涯学習講座「遊学塾」（門川町）	一般	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学、体験講座	22名
19	R3. 10. 27	川南町放課後子ども教室（多賀小）	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学、体験講座	13名
20	R3. 11. 12	宮崎市立住吉南小学校6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学、体験講座	91名
21	R3. 12. 4	広瀬西小学校区地域づくり協議会	一般	埋蔵文化財センターの紹介・見学、体験講座	23名
22	R3. 12. 14	宮崎市立広瀬小学校6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、地質についての学習	130名
23	R3. 12. 14	宮崎市立木花小学校6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	43名
24	R3. 12. 16	川南町立多賀小学校6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、地質についての学習	13名
合計					758名

(7) 現地説明会・調査報告会等

例年は発掘調査中の現場を県民の方に見学していただく遺跡の現地説明会や、発掘調査が終了した遺跡について、その成果を紹介するための報告会等を開催している。

【現地説明会】

	開催日	遺跡名	開催地	内 容・対 象	参加者
1	R3. 6. 11	羽子場遺跡	美郷町	遺跡の概要、遺跡内の遺構・遺物の説明 美郷北義務教育学校①	11名
2	R3. 6. 15	羽子場遺跡	美郷町	遺跡の概要、遺跡内の遺構・遺物の説明 美郷北義務教育学校②	30名
3	R3. 6. 17	羽子場遺跡	美郷町	遺跡の概要、遺跡内の遺構・遺物の説明 美郷北義務教育学校③	25名
4	R3. 6. 23	羽子場遺跡	美郷町	遺跡の概要、遺跡内の遺構・遺物の説明 美郷北義務教育学校④	31名
5	R3. 9. 30	湯之宮遺跡	新富町	遺跡の概要、遺跡内の遺構・遺物の説明 上新田学園6年	23名
6	R3. 11. 23	陣ノ元遺跡	宮崎市	遺跡の概要、遺跡内の遺構・遺物の説明 一般	105名
合計					225名

【調査報告会】

	開催日	遺跡名	開催地	内 容	参加者
	令和3年度は実施せず	—	—	—	—

(8) 見学・研修等で訪れた団体およびインターンシップ・職場体験の受け入れ

	実施日	場 所	団体名	内 容	人 数
1	R3. 4. 17	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	5名
2	R3. 6. 16	埋蔵文化財センター分館	宮崎西高附属中学校	研修・展示見学	83名
3	R3. 6. 16	埋蔵文化財センター分館	延岡学園尚学館小学校	展示見学	35名
4	R3. 7. 1	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立榎小学校4年	展示見学	35名
5	R3. 7. 2	埋蔵文化財センター分館	日向市立寺迫小学校3・4年	展示見学	29名
6	R3. 7. 3	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	4名
7	R3. 7. 8	埋蔵文化財センター分館	県立延岡しろやま支援学校	展示見学	13名
8	R3. 7. 8	埋蔵文化財センター分館	県立都城さくら聴覚支援学校	展示見学	25名
9	R3. 7. 9	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立田野小学校	展示見学	31名
10	R3. 7. 16	埋蔵文化財センター分館	木城町立木城小学校	展示見学	58名
11	R3. 8. 3	埋蔵文化財センター分館	門川町立草川小学校6年	展示見学	58名
12	R3. 10. 22	埋蔵文化財センター分館	西都市立茶臼原小学校1～4年	展示見学	28名
13	R3. 10. 22	埋蔵文化財センター分館	都城市立山之口・麓小学校5年	展示見学	58名
14	R3. 10. 29	埋蔵文化財センター分館	三股町立宮村小学校3・4年	展示見学	49名
15	R3. 11. 4	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立木花小学校3年	展示見学	47名
16	R3. 11. 5	埋蔵文化財センター分館	小林市立永久津小学校3・4年	展示見学	27名
17	R3. 11. 5	埋蔵文化財センター分館	小林市立東方小学校3・4年	展示見学	42名
18	R3. 11. 7	埋蔵文化財センター分館	宮崎大学学芸員課程	展示見学・研修	22名
19	R3. 11. 7	埋蔵文化財センター分館	日南市立北郷小中学校6年	展示見学	26名
20	R3. 11. 12	埋蔵文化財センター分館	日南市立油津小学校6年	展示見学	7名
21	R3. 11. 12	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立住吉南小学校3年	展示見学	91名
22	R3. 11. 22	埋蔵文化財センター分館	まるのキンダーガーデン	展示見学	40名
23	R3. 11. 28	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	7名

24	R3. 12. 17	埋蔵文化財センター分館	都城市立祝吉小学校 6年	展示見学	6名
25	R3. 12. 18	埋蔵文化財センター分館	キッズラボ：都城市	展示見学	13名
26	R4. 1. 28	埋蔵文化財センター分館	宮崎・鹿児島考古の旅：関西	展示見学・研修	21名
27	R4. 3. 26	埋蔵文化財センター分館	宮崎民俗学会	研修	14名
合計					874名

(9) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可申請があり、令和3年度は館内利用13件、館外貸出16件、掲載許可11件であった。

【館内利用】

	遺跡名・利用資料名	利用目的	利用日
1	関越自動車道地域埋蔵文化財発掘調査報告書 有馬遺跡Ⅱ [書籍]	資料調査	R3. 6. 7
2	矢野原遺跡、野首第1遺跡、中ノ迫第3遺跡、山田遺跡、国光原遺跡、立野第5遺跡、野首第2遺跡、赤木遺跡第8地点(3次調査)、尾立第2遺跡、赤木遺跡第8地点(1次調査)、俵石第1遺跡、俵石第2遺跡、舟川第2遺跡(3次調査) [石器]	資料調査	R3. 7. 13～16
3	銀座第1遺跡、塩見城跡 [陶磁器]	資料調査	R3. 8. 12
4	南学原第1遺跡、南学原第2遺跡、下屋敷遺跡、長藪原遺跡、上ノ原遺跡、北牛牧第5遺跡、野首第1遺跡、唐木戸第1遺跡、音明寺第2遺跡(2次調査)、音明寺第1遺跡、東畦原第3遺跡、東畦原第2遺跡、牧内第1遺跡(4次調査)、唐木戸第3遺跡、牧内第2遺跡、勘大寺遺跡(1次調査)、東畦原第1遺跡(2次調査)、東畦原第1遺跡(3次調査)、東畦原第1遺跡(4次調査)、尾小原遺跡、中ノ迫第1遺跡(1次調査)、中ノ迫第1遺跡(2次調査)、赤木遺跡第8地点(2次調査)、山田遺跡、尾立第3遺跡、勘大寺遺跡(2次調査)、吉野第2遺跡、立野第5遺跡、野首第2遺跡、前ノ田村上第2遺跡、牧内第1遺跡、赤木遺跡第8地点(3次調査)、中ノ迫第2遺跡、尾立第2遺跡、林遺跡、赤木遺跡第8地点(1次調査)、舟川第2遺跡 [石器]	資料調査	R3. 10. 9, 10, 16, 17, 23, 24, 30, 11. 7
5	下田畑遺跡、陣ノ内遺跡、前原南遺跡、白ヶ野第3遺跡B地区、竹淵C遺跡、宮ノ東遺跡 [土器]	資料調査	R3. 10. 10～12
6	天神河内第1遺跡 [土器]	資料調査	R3. 10. 23
7	上園遺跡F地区 [土師器]	資料調査	R3. 11. 22, 24 ~ 26
8	五ヶ村遺跡、南平第3遺跡、野門遺跡、鶴野内中水流遺跡、俵石第2遺跡、赤坂遺跡、天神本第2遺跡、大内原遺跡、明石遺跡、尾花A遺跡、向原第1遺跡 [弥生土器]	資料調査	R3. 11. 23
9	塩見城跡 [陶磁器]	資料調査	R3. 12. 14
10	宮崎学園都市関連遺跡 [写真類ほか]	資料調査	R3. 12. 15
11	野首第1遺跡、白ヶ野第2・第3遺跡 [石器]	資料調査	R4. 1. 17
12	国史跡肥前国庁跡保存整備事業報告書 [書籍]	資料調査	R4. 2. 3
13	広木野遺跡、西下本庄遺跡、鶴野内中水流遺跡、木脇遺跡、枯木ヶ迫遺跡、山口遺跡第2地点、黒仁田遺跡、山崎上ノ原第1遺跡 [土師器]	資料調査	R4. 3. 20～22

【館外貸出】

	貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
1	野添遺跡 [ササゲ属種子炭化物・クリ種子炭化物]	30	文化交流展示「海の道、アジアの路」(平常展)に展示	R3. 4. 1 ~ R4. 3. 31	九州国立博物館

2	新富町富田城跡 35mm ポジフィルム	3	講座「宮崎の中世の山城に学ぶ」 スライドに使用	R3. 4. 10～ R3. 5. 9	NPO 法人 i さいと
3	平畑遺跡、学頭遺跡、田代ヶ八重遺跡、 荒迫遺跡、上の原第1遺跡、竹ノ内遺跡、 虎崩遺跡、塚原遺跡、白ヶ野第2・第3遺 跡、上ノ原遺跡、別府原遺跡、春日地区 第2地点、唐木戸第4遺跡、野首第1遺 跡、尾立第2遺跡、野首第2遺跡、尾花 A遺跡、内野々第4遺跡、岡遺跡(第13 次)、保木島遺跡 [土器・土製品・石器・ 玉類]	59	令和3年度企画展I「縄文のこ ころ～南九州縄文時代の精神文化 ～」に展示	R3. 4. 8～ R3. 6. 25	西都原考古 博物館
4	横市中原遺跡、宮ノ東遺跡 [土師器]、筆 無遺跡、笹ヶ崎遺跡 [石帯]、梅北針谷遺 跡 [羽口・鉄滓]	9	令和3年度都城歴史資料館企画 展「平安時代ってどんな時代?～ 古代日向国の中の都城～」に展示	R3. 4. 13～ R3. 9. 3	都城市教育 委員会
5	学習キット [弥生]	43	大学の講義で使用	R3. 4. 12～ R3. 4. 14	南九州大学
6	学習キット [旧石器]	75	大学の講義で使用	R3. 4. 26～ R3. 4. 28	南九州大学
7	学習キット [縄文] [弥生] ハンズオンキット [縄文土器] [石錘]	240	村所小学校6年生の授業に使用	R3. 5. 15～ R3. 5. 22	西米良村立 村所小学校
8	野添遺跡 [縄文土器・炭化種子]、平峰遺 跡1次・2次調査 [仕切付角鉢]、平峰遺 跡3次調査 [須恵器平底瓶]	9	第35回国民文化祭・第20回全国 障害者芸術・文化祭 都城市3館 周年特別展「神話にみえる都城・ 北の蝦夷! 南の隼人!」に展示	R3. 5. 24～ R3. 9. 17	都城市教育 委員会
9	学習キット [縄文]	100	大学の講義で使用	R3. 5. 24～ R3. 5. 26	南九州大学
10	学習キット [弥生]	43	大学の講義で使用	R3. 5. 31～ R3. 6. 2	南九州大学
11	学習キット [古墳]	21	大学の講義で使用	R3. 6. 14～ R3. 6. 16	南九州大学
12	学習キット [縄文・弥生・古墳]	239	第6学年の授業で使用	R3. 6. 17～ R3. 6. 27	西都市立 穂北小学校
13	学習キット [縄文・弥生]	143	第6学年の授業で使用	R3. 7. 4～ R3. 7. 11	日南市立 酒谷小学校
14	立体パズル [平置きタイプ及び回転タイ プ 竹ノ内遺跡・右葛ヶ迫遺跡出土土器]	6	考古博こども探検隊で使用	R3. 10. 28 ～R3. 11. 1	西都原考古 博物館
15	山田遺跡・矢野原遺跡・舟川第2遺跡・ 下那珂遺跡 [石器]、竹ノ内遺跡 [岩偶・ 縄文土器・土偶]、下耳切第3遺跡・小迫 遺跡・保木島遺跡・上高遺跡 [縄文土器]、 志戸平遺跡 [木製品]、塚原遺跡 [壺形埴 輪・石器]、平峰遺跡 [土師器・石器]、 復元石器	90	令和3年度企画展II『教科書か ら学ぶ考古学～日本史、その頃 の宮崎』に出展のため	R3. 12. 22 ～R4. 3. 18	西都原考古 博物館
16	展示ケース類、整理作業用品、右葛ヶ迫 遺跡 [縄文土器]	61	令和3年度地域の特色ある埋蔵 文化財活用事業企画展「遺跡を 復原する」展示のため	R4. 2. 14～ R4. 3. 31	高鍋町教育 委員会

【 刊行物等掲載（写真等資料提供） 】

	資料名	掲載刊行物等	依頼者	申請日
1	学頭遺跡[翡翠製玉類]、竹ノ内遺跡[軽石製岩偶]	令和3年度企画展Ⅰ「縄文のころ～南九州縄文時代の精神文化～」ポスター・チラシ等に掲載	西都原考古博物館	R3. 4. 1
2	筆無遺跡・笹ヶ崎遺跡 [石鏝]	第35回国民文化祭・第20回全国障害者芸術・文化祭 都城市3館周年特別展「神話にみえる都城・北の蝦夷！南の隼人！」におけるパネル展示・図録掲載	都城市教育委員会	R3. 4. 30
3	豊満大谷遺跡、野添遺跡 [縄文土器・炭化種子]、平田遺跡 [鉄矛]、平峰遺跡1次・2次調査 [土師器・多角形住居跡]、平峰遺跡3次調査 [須恵器]	第35回国民文化祭・第20回全国障害者芸術・文化祭 都城市3館周年特別展「神話にみえる都城・北の蝦夷！南の隼人！」におけるパネル展示・図録掲載	都城市教育委員会	R3. 5. 21
4	余り田遺跡 [Ⅱ区流路状遺構掘り下げ状況・余り田遺跡出土墨書土器群・則天文字の墨書土器]、宮ノ東遺跡 [発掘調査風景・新田原台地を望む竪穴住居群・竈と土器埋設炉をもつ竪穴住居]	WEBサイト「全国子ども考古学教室」に掲載	NPO法人 むきばんだ応援団	R3. 6. 14
5	陣ノ元遺跡 [発掘調査現場見学写真]	小学6年生 自由研究に使用	個人	R3. 8. 4
6	西畦原第2遺跡 (2次調査) [3号陥し穴]	国際交流展「イノシシと人間—身近な“野生”との交渉史—」の展示図録及び解説パネルへの掲載	西都原考古博物館	R3. 9. 1
7	中野内遺跡 [海山迫る小平野に立地する中野内遺跡]、赤木遺跡第8地点 (1次調査) [遠景写真・出土石器・土層写真]、駄小屋遺跡 [2号竪穴建物]、山田遺跡 [1号周溝墓と竪穴住居]、吉野第2遺跡 [遠景 (西より)]	令和4年延岡城・内藤記念博物館の展示コーナーの壁面・手摺解説に使用	延岡市教育委員会	R3. 10. 29
8	矢野原遺跡 [剝片尖頭器]、下耳切第3遺跡 [SC140 出土深鉢]	令和3年度企画展Ⅱ「教科書から学ぶ考古学～日本史、その頃の宮崎～」のポスター・チラシに掲載	西都原考古博物館	R3. 11. 19
9	小迫遺跡 [土器図面・遺跡の立地3・調査区全景]	令和4年度秋期特別展に係る広報(総合博物館ホームページ、関連印刷物)	総合博物館	R3. 12. 13
10	塩見城跡 [塩見城跡遠景、井戸跡と石積遺構]	吉川弘文館「九州の名城を歩く—宮崎・鹿児島編—」に掲載	吉川弘文館	R4. 3. 4
11	吉牟田遺跡 [縄文土器]	「国際文化学園 美容考古学研究報告 vol. 8」に掲載	学校法人 国際文化学園	R4. 3. 16

(10) 職員派遣

市町村の教育委員会等に埋蔵文化財等の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

派遣期日	依頼者	内容	派遣職員
R3. 4. 18 R4. 2. 28	青島青少年自然の家	職員研修における講師	赤崎広志

R3. 4. 26	宮崎西高理数科	理数科生徒の調査研究活動への指導	赤崎広志
R3. 4. 26 R3. 6. 7, 18 R3. 12. 13 R4. 3. 14, 25	延岡市教育委員会	延岡市史編集委員会議 延岡市史編集委員専門部会（考古部会）	赤崎広志 谷口武範 堀田孝博
R3. 5. 11 R3. 12. 22	宮崎県文化財課	宮崎県文化財保存活用大綱策定検討委員会	谷口武範
R3. 6. 27	東北大学 東北アジア研究センター	オンライン講演会講師	東 憲章
R3. 8. 30	高鍋町教育委員会	持田地区遺跡の地中レーダー探査	東 憲章
R3. 11. 12, 13	飯塚市教育委員会	「内野宿御茶屋跡」の発掘調査報告書作成に係る指導	藤木 聡
R3. 11. 27, 28	宮崎県みやざき文化振興課	大阪大谷大学連携講座の講師	堀田孝博
R3. 11. 30 ~ 12. 3	愛媛大学 アジア古代産業考古学研究センター長	長崎県対馬市オテカタ遺跡の地中レーダー探査、解析	東 憲章
R4. 1. 22	都城市教育委員会	都城歴史資料館運営委員会	谷口武範
R4. 1. 27	宮崎県文化財課	国指定名勝及び天然記念物「五箇瀬川峡谷（高千穂峡谷）」の地震被害調査	赤崎広志

(11) 埋蔵文化財担当専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。令和3年度当初は外部講師を招聘しての対面研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮して、外部講師のオンライン講義と埋蔵文化財センター職員等による実習に切り替え、参加者も対面またはオンラインによるハイブリッド方式で行った。

実施日	場 所	講 師	内 容	参加者数
R4. 1. 20, 21	埋蔵文化財センター分館、西都原考古博物館	独立行政法人奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター センター長 金田明大氏	「埋蔵文化財の保存・活用における三次元計測の導入」	22

(12) 広報出版物

埋蔵文化財センターの「年間行事案内」及び「埋文通信」の発行を行うとともに移動展示会、施設公開等についてもポスターやチラシ、資料等の作成を行った。

発行年・月	広報出版物
R3. 6	宮崎県埋蔵文化財センター 年報 第25号 令和2（2020）年度
R4. 3	令和4年度 宮崎県埋蔵文化財センター 年間行事案内「EVENT CALENDAR」
R4. 3	宮崎県埋蔵文化財センター 通信 「ひむか」24号

(13) ホームページ・SNS

施設公開、埋蔵文化財講座、成果展、出前講座等の教育普及事業の広報を、ホームページやSNSを通じて行った。また、整理作業員や発掘作業員等の会計年度任用職員の募集や資料の貸出、発掘調査の状況等を発信し、ホームページやSNSの活用を推進した。

3 会議・職員研修

(1) 各種会議等への参加

全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会ほか主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い会議、研修の中止が相次ぎ、オンラインで開催されたものも複数あった。

日 程	内 容	開催地	出席者
R3. 8. 25, 26	令和3年度第1回埋蔵文化財担当職員等講習会	オンライン	谷口武範・飯田博之・東憲章・和田理啓
R3. 9. 22	令和3年度宮崎県地方史研究連絡協議会総会	宮崎県宮崎市	山田洋一郎
R3. 12. 2	令和3年度宮崎県博物館等協議会研修会	宮崎県宮崎市	山田洋一郎
R3. 7. 27 R3. 10. 8 R4. 1. 12 R4. 3. 2	令和3年度埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	オンライン	和田理啓・平井祥蔵・飯田博之

(2) 共同研究への参加

所外の研究者や機関等が主催する共同研究へ職員が参加するものである。

日 程	内 容	参加者
令和3年度は該当者なし	—	—

(3) 労働安全衛生関係の講習会等への参加

発掘調査現場及びセンター内での安全衛生の増進を図るため、以下の各講習会へ参加している。

日 程	内 容	参加者
R3. 5. 19	刈払機取扱作業安全衛生教育	田中敏雄・古川誠・谷口至・小吹雅史
R3. 6. 8	足場の組立等の特別教育	藤木聡・小吹雅史
R3. 6. 14, 15	救急救命講座（心肺蘇生法・AED 操作法・応急手当）	菊村祐司・赤崎広志・向井大蔵・柚木崎誠一朗・谷口武範・荒武くるみ・永野光希子・飯田博之・和田理啓・藤木聡・大竹進太郎・小吹雅史・吉行真人・東憲章・竹田享志・橋本英俊・古川誠・加藤真理子・堀田孝博・黒木俊彦・松田清孝・山田洋一郎・谷口晴子・貴嶋活実
R3. 6. 21～23	第一種衛生管理者講習	藤木聡
R3. 6. 29	熱中症予防指導員・管理者研修	小吹雅史
R3. 9. 28, 29	安全衛生推進者養成講習	小吹雅史

IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

平成 8 年 3 月 29 日
教育委員会規則第 5 号

改正

平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号
平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号
平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号
平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号
平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号
平成 26 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号
令和 2 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則をここに公布する。
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第 2 条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。
(1) 埋蔵文化財の調査研究に関する事。こと。
(2) 出土品その他の資料の保存及び活用に関する事。こと。
(3) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関する事。こと。
(4) 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関する事。こと。
(5) 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関する事。こと。
(6) その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関する事。こと。

(組織)

第 3 条 埋蔵文化財センターに、次の課を置く。

総務課
調査課
普及資料課

(分掌事務)

第 4 条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課
(1) 職員の人事、給与及び服務に関する事。こと。
(2) 予算の執行及び決算に関する事。こと。
(3) 文書の收受、発送及び保存に関する事。こと。
(4) 公印の管守に関する事。こと。
(5) 施設及び設備の管理に関する事。こと。
(6) その他他の課の所管に属さない事項に関する事。こと。
調査課
(1) 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する事。こと。
(2) 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する事。こと。
(3) 重要遺跡の発掘調査及び保護に関する事。こと。
(4) 前 3 号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関する事。こと。
(5) 第 1 号から第 3 号までの発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関する事。こと。
普及資料課
(1) 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関する事。こと。
(2) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関する事。こと。
(3) 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸出しに関する事。こと。
(4) 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関する事。こと。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (2人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。

3 第1項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は、次のとおりとする。

第1順位 統括の副所長

第2順位 業務担当の副所長

4 第1項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
副 主 幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休館日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	1 土曜日及び日曜日 2 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。) 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで(休日を除く。) 4 特別整理期間(あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。)
宮崎県埋蔵文化財センター 分館	1 月曜日(休日に当たるときを除く。) 2 休日の翌日(土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。) 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4 特別整理期間

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項に定める休館日に開館し、又は同項に定める休館日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。

(4) 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。

(5) 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書(別記様式第1号)を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第 11 条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館及び同法第 29 条の規定により文部科学大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
 - (2) 社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 21 条に規定する公民館
 - (3) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する学校
 - (4) 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
 - (5) 市町村立の歴史民俗資料館等で宮崎県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が定めるもの
 - (6) その他教育長が適当と認めるもの
- 2 資料等の館外貸出しの期間は、30 日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。
- 3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書（別記様式第 2 号）を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。
- 4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。
- (1) 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
 - (2) 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
 - (3) 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁償)

第 12 条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第 13 条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。
(宮崎県総合博物館管理運営規則の一部改正)
- 2 宮崎県総合博物館管理運営規則（昭和 46 年宮崎県教育委員会規則第 4 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則（平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号）

この規則は、平成 12 年 1 月 20 日から施行する。

附 則（平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号）

この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号抄）

(施行期日)

1 この規則は、平成 13 年 1 月 6 日から施行する。

附 則（平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号）

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号）

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 26 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号）

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 2 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号）

この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

別記

様式第 1 号

(第 10 条関係)

様式第 2 号

(第 11 条関係)

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館外貸出を受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

案内図

宮崎県埋蔵文化財センター

所在地 〒880-0212

宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 4019

TEL 0985-36-1171 (代表・総務課)

0985-36-1172 (調査課)

FAX 0985-72-0660

ホームページ <https://www.miyazaki-archive.jp/maibun/>

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関：JR 佐土原駅から車で 10 分

宮崎市街地から高鍋町方面宮崎交通バス

御殿下バス停 から徒歩で 8 分



宮崎県埋蔵文化財センター分館

所在地 〒880-0053

宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4

TEL 0985-21-1600 (普及資料課)

FAX 0985-26-2634

観覧時間 午前 9 時～午後 5 時

(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日 年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)

特別整理期間

入館料 無料

E-mail maibun-fukyu@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関：JR 宮崎神宮駅から徒歩で 10 分

綾・国富・平和が丘行き宮崎交通バス

博物館前バス停から徒歩で 2 分





宮崎県埋蔵文化財センター

〒 8 8 0 - 0 2 1 2 宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地
T E L 0985 - 36 - 1171 ・ 1172 F A X 0985 - 72 - 0660
E - mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp